

事務事業名	学校保健管理事務経費 ☐ 実施計画事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12102								
			所属課室	教育総務課		課長名	樋口敏明								
			所属担当	保健給食担当		担当者名	千野千代美								
基本政策	基本計画体系 V 23 36	個性と文化を育む都市づくり 学校教育の充実 「生きる力」を育む学校教育の推進	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
			01	一般	1	0	0	1	0	2	0	2	0	2	3
政策			事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金	☐ 施設等維持管理事業 ☐ 補助金交付事業 ☒ その他の事業										
施策															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	学校保健法											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 学校保健業務の運営に伴う必要な事業①学校医、結核対策委員報酬支払い②就学児童用保健調査票の準備③伝染病発生報告の取り纏め④養護教諭との事業調整			事業費の主な内訳 (22年度)											
				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)											
				報償金		15,519									
				印刷製本費		29									
				医薬材料費		173									
				手数料		0									
				計								15,721			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	学校医、結核対策委員報酬の支払い。伝染病発生報告の取り纏め。養護教諭との事業調整。
23年度活動予定	学校医、結核対策委員報酬の支払い。伝染病発生報告の取り纏め。養護教諭との事業調整。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
学校医、学校歯科医、学校薬剤師、児童・生徒、養護教諭	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
学校保健事業の円滑な運営	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
児童生徒が健康で安心な学校生活を送る。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 伝染病発生報告数	件
イ 学校健診数	件
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 学校数	校
イ 学校医・薬剤師数	人
ウ 児童生徒数	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 治癒した児童・生徒数	人
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 学校生活の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	15,621	15,721	16,281	16,391	16,391	16,391	
	事業費計 (A)			千円	15,621	15,721	16,281	16,391	16,391	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	500	500	500	500	500	500		
		人件費計 (B)	千円	2,231	2,231	1,981	1,981	1,981	1,981	0	
		(A)+(B)			千円	17,852	17,952	18,262	18,372	18,372	0
活動指標		アイウ	件	3,000.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0		
		アイウ	件	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0	666.0		
		アイウ									
対象指標		アイウ	校	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0		
		アイウ	人	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0		
		アイウ	人	7,193.0	7,276.0	7,130.0	7,130.0	7,130.0	7,130.0		
成果指標		アイウ	人								
		アイウ									
		アイウ									
上位成果指標		アイ	%								
		アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前より、児童生徒が健康で安全な学校生活を送るために行われている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	変化なし
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	学校医より、報酬額の増額があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	結核対策委員会での検討時間が短縮できるよう、事前に対象者リストから精密検査対象者の情報を養護教諭と調整を図っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	学校医報酬を5年ぶりに引き上げを行った。

事務事業名	学校保健管理事務経費	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 児童生徒が健康で安心な学校生活を送れ、上位目的に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 対象指標が医師及び児童生徒であり、公共関与は妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 事業継続は妥当であり見直す余地はない。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 適正かつ効率的なやり方、進め方をしている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 学校保健業務の円滑な運営が行えない。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 児童生徒が健康で安心な学校生活を行えない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 学校医・結核対策委員報酬金のため削減はできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費の削減、また委託等はできない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 学校児童・生徒全員が対象であり、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	児童生徒の健康管理や感染症予防等を考えると、学校医や結核対策委員の専門的な指導を頂く中で、この事業の存在は大きい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	④																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					